

拠出金名：赤十字国際委員会拠出金

国際機関等名	赤十字国際委員会 (英文名称・略称) International Committee of the Red Cross (ICRC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	(その他)
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局人道支援室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト		
平成18年度	518,000		5,886	1\$=111円、1CHF=88円	(2006年) 1.27%	100
平成17年度 (注2)	1,140,200	5,000	6,800	1\$=107円、1CHF=89円	(2005年) 1.38%	100
平成16年度 (注3)	1,324,000	6,000	8,000	1\$=110円、1CHF=83円	(2004年) 1.03%	100
*邦貨は拠出総額で外貨分はその内数(ドル貨は予備費支出)						
拠出上位5ヶ国・地域				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国 名	金額(千CHF)	率(%)	当該年度の収入 967,110,000 CHF		
1位	米国	209,618	21.7	当該年度の支出 976,097,000 CHF		
2位	英国	97,868	10.1	次年度への繰越 ▲8,987,000 CHF		
3位	スイス	97,012	10	会計検査機関名		
4位	EC	84,932	8.8	KPMG		
5位	オランダ	61,984	6.4			
上記の率及び順位は2006年(1～12月)のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICRCは独立性、中立性の高い機関であり、それを遵守しているがゆえに、紛争地帯において敵対する両勢力からの信頼を得て活動を行うことができる。ICRCへの支援を通じて、わが国が直接支援を行うことができない場所へ支援を行うことは、人道支援大国として世界へアピールするための重要な要素の一つである。ICRCは独立性、中立性を維持する観点から、特定のドナー国からの意見を直接反映させることはないが、毎年開催される支援国会合や国際顧問グループの提言を通してドナー国との意思疎通をはかっている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
より効率的な活動を実施するための機構改革や、本部の経費を据え置く等の努力を評価。						
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	11,329人 0.01%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称	職 員 氏 名		備 考			
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
①職員採用に際しては英・仏語が要件となるため、困難な面もあるが、JPO経験者で英・仏語の能力を有する優秀な人材を積極的に発掘し、ICRCに交渉する。 ②日本赤十字社は、これまで手弁当で邦人職員をICRCに派遣しているところ、今後とも日赤と連携を密にし、派遣を支援していく。						

(注1) 拠出率は我が国のICRCへの国際機関等拠出金からの拠出額(暦年)がICRC総収入(暦年)に占める割合

(注2) パキスタンにおける大規模地震被害に対する緊急人道支援500万ドル(補正予算)を含む

(注3) スマトラ沖地震及びインド洋津波被害に対する緊急人道支援600万ドル(予備費)を含む